

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
幼児造形表現法Ⅱ		櫻井 俊夫	演習	2	後期
必修・選択	修了要件	選択			
	資格要件				
学習目標	<p>前期の幼児造形教育表現法Ⅰの学習内容を踏まえて、幼稚園および保育所における造形活動の望ましい在り方について、次の事項を指導する。</p> <p>(1) 造形活動の材料・用具・技法の知識・技法の習得を図る。</p> <p>(2) 幼児に対する働きかけ、活動の場の設定、安全指導等について習得を図る。</p> <p>(3) 保育者としての造形的表現力の習得と向上を図る。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	造形活動の材料、用具、技法	幼児を対象とする造形活動における材料・用具にはどのようなものがあるか。			
2		どのような技法を、どのように教えなければならないか。 材料・用具・技法に関する実習			
3					
4	造形活動における環境設定の在り方	望ましい環境設定の在り方について、幼稚園および保育所の実践活動をスライドで見ながら指導する。			
5	課題の提出と指導	1～4回の授業内容から課題を提出し、記述の仕方、理解等について指導する。			
6	描いて遊ぶ活動のための技能の向上を図る	具体的な課題を設定し、実践的な表現技能の向上を図るための指導をする。			
7					
8					
9	作って遊ぶ活動のための技能の向上を図る	具体的な課題を設定し、実践的な表現技能の向上を図るための指導をする。			
10					
11	幼児の絵の見方と指導	心身の成長発達ともの見方、感じ方、表し方の変化について、幼児の作品を通して系統的に指導する。			
12					
13	課題の提出と指導	これまでの授業における講述内容と実習に基づいて課題を提出し、記述の仕方、理解等について指導する。			
14					
15	後期まとめ				
参 考 書	前期に配布した講義資料集を継続使用する。				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）					
評価の方法と時期	課題に対する記述内容を資料として評価する。				